

企業の経営に役立つ総合的な情報誌

あきたBiz⁺ 商エ plus

2026年9月発行

Vol.616

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行

発行日／令和8年9月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

変革に挑戦

「もしも」に備えるBCP（事業継続計画）

災害時に避難場所としてキャンプ場を開放し周辺住民をサポート

「ぽよよんの森オートキャンプ場」
有限会社高橋土木
(東成瀬村商工会)

今月のテーマ

「事業継続計画（BCP）」を策定しましょう！

今回は、BCP策定支援を受けた会員事業所の事例をご紹介します。

Contents

-  P.2 個社支援の取組
-  P.3 BCP策定状況
-  P.4 商工会の独自戦略
-  P.5 カケハシプロジェクト
-  P.6 県南観光イベント



会員事業所 取組事例①

災害時に避難場所としてキャンプ場を開放し周辺住民をサポート

有限会社高橋土木／ぽよよんの森オートキャンプ場（東成瀬村商工会）

代表取締役 高橋 忠治さん

所在地 東成瀬村岩井川
(キャンプ場 東成瀬村椿川)

従業員数 7名

事業内容 建設業／キャンプ場運営



補助金で導入したソーラーパネルと蓄電池

相談のきっかけ

- ・東日本大震災時、ライフラインが停止し、事業継続に大きな影響を受けた。
- ・商工会職員からBCP個別相談会への参加を勧められた。

取組内容

- ・東成瀬村商工会独自の「簡易BCPシート」を活用し、BCPを策定。
- ・県「中小企業BCP実効性確保支援事業補助金」を活用して、ソーラーパネルと業務用蓄電池を導入。
- 災害時は、事務所の非常用電源として活用。さらには、キャンプ場を避難の場として開放し、周辺住民のサポートのために活用することも想定。

BCPの内容

- ・非常用電源の確保
- ・備蓄品の準備
- ・緊急連絡先等のリスト化
- ・データのバックアップ

事業者の声

代表取締役 高橋 忠治さん

BCP策定に当たり、災害や事故など事業継続に関わるリスクへの「備え」を改めて見直す良い機会となりました。近年は熊の出没が増加しているため、今後は地域特有のリスク対応も盛り込みながら、より実効性の高いBCPへと更に見直していきます。また、緊急時に迅速な対応ができるよう、社内での情報共有を進めるとともに、地域をつなぐ連携の強化にも取り組んでいきます。



会員事業所 取組事例②

「クラウド化&セキュリティ強化」で事業継続力強化と業務効率化を実現

田口塗装工業株式会社 美郷支店（美郷町商工会）

代表取締役 田口 真澄さん

所在地 美郷町六郷

従業員数 19名

事業内容 建築塗装／橋梁塗装 他



相談のきっかけ

- ・東日本大震災時、自家発電機が地域の役に立ち、備えの大切さを改めて認識。
- ・パソコン1台でのデータ保管や、サイバー攻撃を脅威に感じ、不安があった。

取組内容

- ・BCP個別相談会に参加し、データ管理やセキュリティ対策の課題を確認。
- ・県「中小企業デジタル化導入支援事業費補助金」を活用し、工事積算システムのクラウド化とランサムウェア対策ソフトを導入。
- データ消失リスクの低減に加え、従来は1台のパソコンに限られていた積算業務を複数台で実施可能となり、事業継続力の強化と業務効率化が実現。

BCPの内容

- ・システムのクラウド化とセキュリティ対策
- ・事業継続に必要な機材の確保
- ・社員・取引先との連絡手段の確立

事業者の声

代表取締役 田口 真澄さん

BCPの見直しや補助金を活用した取組に当たり、商工会からは支援いただくとともに、想定されるリスクについても助言いただき感謝しています。

東日本大震災の経験から、常に緊急時の対応をシミュレーションし、会社全体でBCPに基づき迅速に対応できる体制をとっています。現在は、導入したシステムの従業員向け操作研修を実施しており、更なる業務効率化も目指しています。



BCP策定支援事業のご案内 ～自社の事業と従業員を守るために～

近年、自然災害の激甚化や新たなリスク（感染症の流行、サイバー攻撃、物流の混乱など）が次々と顕在化しています。不測の事態が発生した際、事業へのダメージを最小限に抑え、いち早く事業を復旧・継続するための計画が「BCP」です。商工会では、BCP策定を強力にサポートする支援事業を展開しています。

高まるBCPの重要性と、中小企業の現状

帝国データバンクの「事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査（2026年）」によると、企業のBCP策定率は21.4%と過去最高を記録しました。しかし、企業の防災意識は高まっているものの、大企業と中小企業の間で策定の差が大きく生じています。（表1）

未策定の中小企業の多くが、その理由として次の3つを挙げています。

- ・策定に必要なスキル、ノウハウがない
- ・人材が足りない
- ・時間を確保できない

BCPの必要性は感じていても、策定にハードルを感じている中小企業が多いことが分かります。

（表1）事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査

企業規模	BCP策定率 （2026年実績）
大企業	39.9%
中小企業	18.3%

参照元：帝国データバンク

商工会による万全の支援体制～専門家が直接サポート～

商工会では「専門家派遣」を活用したBCP策定支援を次のとおり実施しています。



ゼロからの伴走支援

専門家が自社の潜在的なリスクの洗い出しから計画書策定までを丁寧にサポートします



「事業継続力強化計画（ジギョケイ）」の認定取得支援

国の認定制度「事業継続力強化計画」の申請手続きも視野に入れてアドバイスします



実効性のある計画づくり

単なる書類作成の支援で終わらず、実効性の高い計画策定を支援します

「事業継続力強化計画（ジギョケイ）」とは

企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を国が認定する制度です。認定を受けると次のようなメリットがあります。

●税制優遇

計画に従って取得した防災・減災設備（自家発電機等）について特別償却が適用される

●補助金の加算

持続化補助金・ものづくり補助金等、各種補助金申請での加算措置対象となる

●金融支援

日本政策金融公庫による低利融資が受けられる

●信頼度の向上

国の認定ロゴマークを名刺やHPで使用でき、取引先へのアピールにつながる

最新情報や事例集は
「特設ポータルサイト」を

Check



まずは「商工会」へお気軽にご相談を！

- ・BCPは、いざという時に、いち早く事業を復旧・継続させるためにも、すべての企業が平時から策定しておくことが重要です。
- ・「災害への備えに不安がある」「何から始めればよいかわからない」など、ご相談だけでも構いません。
- ・専門家と商工会が連携し、BCPの策定をサポートします。まずは、お近くの商工会までお気軽にご相談ください。





由利本荘市商工会「ふらっと! ゆりほん」で地域の魅力を発信

コロナ禍に実施した飲食店支援事業を引き継ぎ、令和3年度から事業者の情報発信力強化や効率的な誘客・販路開拓を目的としたウェブサイト「ふらっと! ゆりほん」における取組を実施しています。本号では、今年度、同市において開催される「第149回秋田県種苗交換会2026」に合わせたPRプロジェクトについてご紹介します。

「ふらっと! ゆりほん」の概要

- 市内の飲食店、宿泊店、小売店への来店機会を創出するため、市内の店舗を検索できるウェブサイトとして情報発信を行っている。

ウェブサイト
はこちら

Check



インパクトがあるポスターが見どころ

- プロのカメラマンとデザイナーによる取材撮影を実施して、事業主やお店の雰囲気等のイメージが伝わるよう、人物をメインとしたポスターを制作し、ウェブサイトへの掲載やポスターを常設展示している。

POINT

- 人物写真(事業主・従業員)やお店に合わせた印象的なキャッチコピーを掲載し、大手グルメサイト等との差別化を図っている。
- ウェブサイトでは、現在地や調べたいエリアからお店を簡単に探すことができる。
- ウェブサイトの店舗ページに期間限定クーポンを表示し、来店促進を図っている。

令和7年度の実績

内容	目標	実績
参画事業者数累計	90件	90件
ウェブサイト表示回数(対象期間:令和7年7月~令和8年2月)	30,000件	30,790件
Instagramフォロワー数	500件	1,307件
前年同期間対比で売上を維持・増加させた参加店の割合(令和7年度新規参加店(16件))	70%	81.25%



事業所名: 笑や(しょうや)
業 種: 居酒屋

主な掲載場所

ポスター 由利本荘総合防災公園「ナイスアリーナ」
レクリエーション施設「アクアパル」

リーフレット・アルバム型冊子 道の駅や宿泊施設等、市内の約50か所

公式Instagramは
こちら

Check



「秋田県種苗交換会×ふらっと! ゆりほん」PRプロジェクトについて

由利本荘市において開催される「第149回秋田県種苗交換会2026」において、次のとおり「ふらっと! ゆりほん」PRプロジェクトを実施します。

- 日程: 令和8年10月31日(土) ~ 11月4日(水)の5日間
- 会場: 由利本荘総合防災公園「ナイスアリーナ」
- 内容: 50万人以上の来場者が予想されるメイン会場へ大型デジタルサイネージを設置し、全参加店のポスター画像をスライドショーで紹介するなど、参加店の魅力をダイレクトに発信します。

【見込まれる効果等】

- ウェブサイト表示回数 40,000件(前年比132%)
- Instagramフォロワー数 1,800件(前年比125%)
- 来場者に地域の情報を提供することで、飲食店・宿泊施設・小売店への誘客につながる。



大型デジタルサイネージのイメージ



記憶に残るあの味を、私たちと一緒に繋ぎませんか？

「次世代につなぐ味と技!カケハシプロジェクト」

県連合会が県、市町村及び中小企業支援機関と一体となって実施する新プロジェクトをご紹介します。

「次世代につなぐ味と技!カケハシプロジェクト」の概要

店主の高齢化や後継者不足により将来的に閉店の懸念がある「飲食」を存続させ、次世代につなぐ新事業創出への取組を促進することを目的として、県、市町村及び中小企業支援機関が一体となって実施しております。

「後継者(アツギ)候補」の募集

次世代につなぐ味と技!カケハシプロジェクト創出促進事業

地域の未来をつなぐ

後継者(アツギ)候補 を募集します!



募集期間	令和8年9月14日(月)～令和8年10月14日(水)〔一次締切〕
募集対象	・将来のアツギ候補に名乗りを上げたい方 ・起業希望者(特定の店のアツギを希望するか否か問わず) ・飲食業の事業拡大及び新規参入を検討している経営者
募集項目	・本人申込(自薦) ・引き継ぎたい飲食店名・理由 ・回答者情報 (氏名、生年月日、性別、居住地、連絡先、飲食に関する経験) ・行政・中小企業支援機関の推薦(他薦) ・後継者候補情報 (氏名、生年月日、性別、居住地、連絡先、飲食に関する経験) ・後継者候補への被推薦の了承の有無 ・引き継ぎたい飲食店名 ・推薦理由 ・推薦者情報(推薦団体名、推薦者名)

応募はこちら



「次世代につなぎたい味」発掘調査回答結果について

- ・募集期間：令和8年7月1日～7月31日
 - ・応募件数：463件(うち情報提供飲食店数：315社)
- 詳細は、特設ページにて公表しております。

カケハシプロジェクト
特設ページはこちら
Check



※調査の結果であり、現在、後継者を探している事業所ではありません。事業所への直接の連絡はお控えください。



「あきた県南“食と文化”の観光まつり」を開催します

10月に開催する県南広域観光イベントについてご紹介します。

目的

- ・県南地区に県外観光客を呼び込み、地域内を周遊してもらうことにより、観光消費の拡大を図ることを目的に開催します。
 - ・県南地区を代表する飲食メニューや郷土芸能を一堂に集めてPRすることで、現地への誘客と周遊につなげます。
 - ・さらに、学生モニターツアー等の受入れを通じて、観光コンテンツの磨き上げやネットワーク強化に向けた具体策の検討につなげます。



県南広域観光部会での検討

開催概要

イベント名称	・あきた県南“食と文化”の観光まつり ～県南地区への集客・周遊・消費の好循環を生み出す～
日程	・令和8年10月3日(土)・4日(日)
会場	・湯沢市役所稲川庁舎前駐車場及び周辺施設
主催	・秋田県商工会連合会、21商工会、秋田の未来を創る協議会



同時開催！
「全国まるごとうどんエキスポ」

実施内容(予定)

体験・試食試飲・販売コーナー

あきたの“食と文化”を「体験」

県南の発酵文化ゾーン

- ・日本酒
- ・いぶりがっこ
- ・味噌・しょうゆ

あきた“食と文化”ゾーン

- ・和菓子づくり体験
- ・削り昆布の実演販売
- 他



食コーナー

県南地区の郷土芸能や

ご当地グルメを提供

- ・美郷まんま・ため中
- ・十文字中華
- ・横手焼きそば
- ・稲庭うどん
- ・西馬音内そば



ステージイベント

県南地区を代表する

郷土芸能を披露

- ・角館おやま囃子
- ・秋田湯沢湯乃華芸妓
- ・西馬音内盆踊り
- ・安藤兄弟+なまはげ太鼓
- 他



学生モニターツアー

若者、県外出身者が

「県南観光」を体験

【行程】

- (横手市)・増田蔵の日
- (湯沢市)・うどんエキスポ
- ・秋田銘醸(株)
- ・(有)石孫本店



詳細はホームページ等にてお知らせいたします

広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも月々
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る！
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の
補償

「病気」の
補償

「がん」の
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む)